

### 年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈祷・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせ

がき）は近在の和尚様方が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしています。正月祈祷は一年をすがすがしい気分始めるための10分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

### お参りはご家族そろって！

寺やお墓参りはご家族でお参りください。親から子へ、子から孫へと引き継がれます。むずかしい仏教の教えも自然と理解できます。

### 年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後の食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で二十席。三階も椅子席になりました。四十名くらいまで会食できます。出張して食事を用意してくれる店もご紹介できます。

からだに良さそうな食品からはじまって、ありとあらゆる健康に関する情報が飛びまわっています。そこで、彼岸法要後は健康落語。

### 墓所の工事をする時は寺へご連絡ください

各家の墓所を大きく改修する時、あるいは小さな修理等でも施工する石材店に工事をする上での注意事項がありますので、寺へご連絡ください。なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お頒けすることができます。詳しいことは寺へ直接連絡ください。



### 日曜の朝の坐禅

毎週日曜日の朝六時から七時まで、松岩寺本堂での坐禅にどなたでも参加できます。朝六時に鐘をつきますから、それまでに本堂に入ってください。初めての方にも丁寧に坐り方をご案内します。三十分ほど坐って休憩、残りの十五分ほど坐って、最後に般若心経をよんで七時に解散です。

別紙に「霊園管理費のお願い」を同封しました。

健康に落語なんて、「噺家さんが、見てきたよいうなウソをしゃべるんですよ」。なんて思わないでください。真正正銘、ドクターが真打ちの落語家になってしまったのですから。立川らく朝師匠の一席に、ご期待ください。

本堂は全部椅子席です。席を用意する都合上、ご出席の方は電話・FAX等でご連絡ください。

### 編集後記

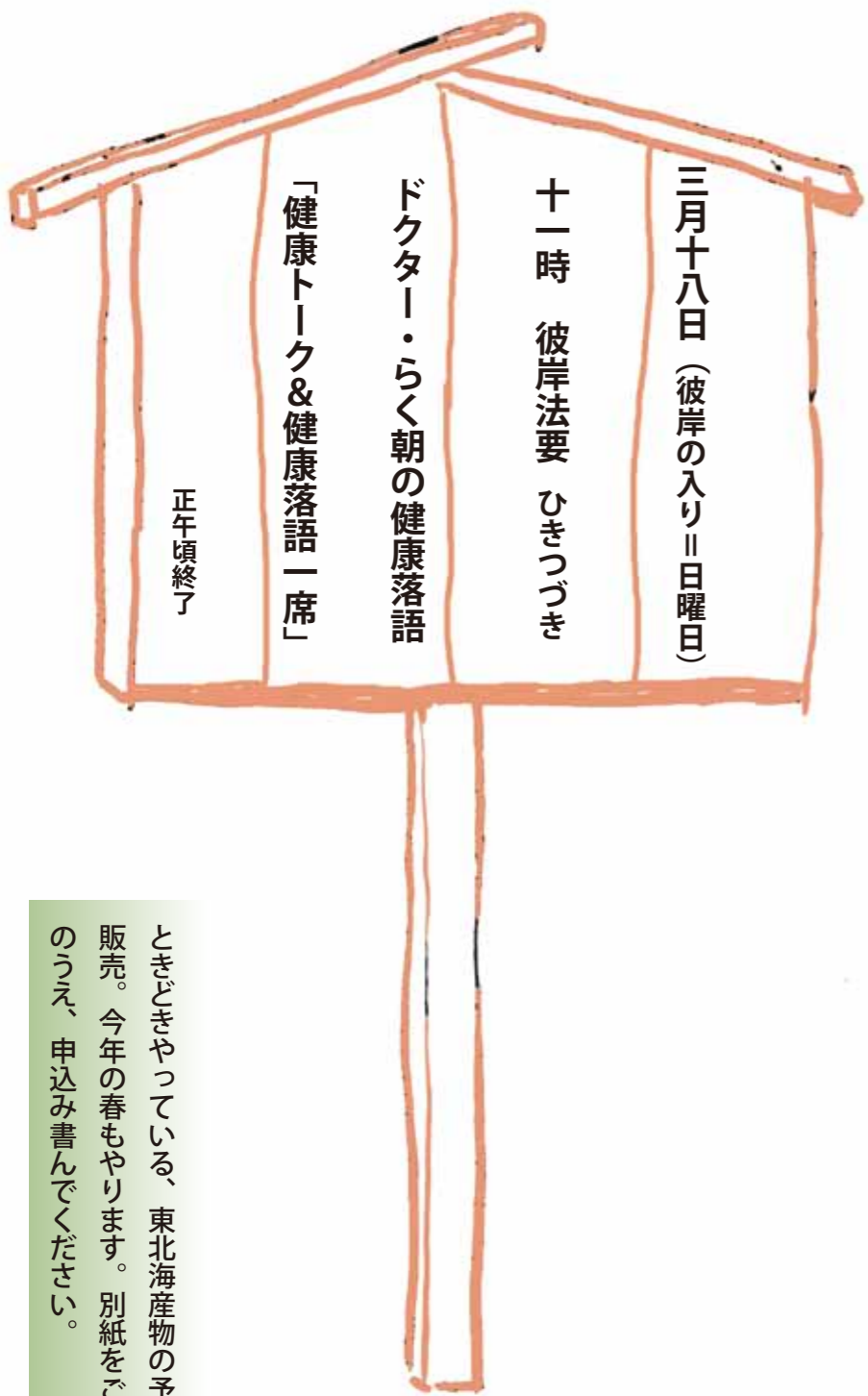
○裏のページのらく朝師匠のプロフィールの背後にある絵は屏風のつもりです。住職が画きました。下手とかなんとか言う前に決定的な間違いを犯していることに気がつきました。屏風というのは二枚とか四枚とか六枚、偶数の面できているのですね。なのに、住職のは五曲（枚）。なぜ、偶数枚かというところ、たぶん奇数だと閉めたときに、金箔や絵の画いてある面が外側に出してしまい、保管する上で、よろしくないから。偶数のほうが具合がよい。たぶんそれが理由だと思えます。○間違いに気がついたら、もう一面書き足して修整すればよいのですが、誤っているからこそ、こつして話しの材料にもなるので残したままです。「過ちて改めざる、これを過ち」とは、『論語』の名言です。孔子さまに叱られるでしょうか。

○でも、もしかしたら屏風が偶数の面できているのは、ほかの理由があるかもしれません。平昌オリンピックで金メダルをとった羽生選手のフリーの演技で流れていたのは、映画『陰陽師』のテーマソングだそうです。陰陽というのは字のごとく、陰と陽の偶数でものごとを考ふる古代中国人の思考方法です。もつとわかりやすい例をあげると、明暗・冷熱・天地・男女・善悪・吉凶・生死など。なんでも、対（ついで）かんがえるわけです。これってわかりやすい綺麗です。対が美しいから、屏風も偶数なのかもしれない。

○対といえば詩には対句の技法があります。対句で思い出すのが、杜甫の「江は碧にして鳥は愈よ白く、山は青くして花は燃えんと欲す」。格別に寒かった今年の冬も、峠をこえたでしょうか。（住職記）

3月18日（日曜日）から21日（春分の日＝水曜日）まで、墓地では花と線香を用意しております。

霊園管理費のお願いが別紙にあります。



三月十八日（彼岸の入り日曜日）

十一時 彼岸法要 ひきつづき

ドクター・らく朝の健康落語

「健康トーク&健康落語一席」

正午頃終了

ときどきやっている、東北海産物の予約販売。今年の春もやります。別紙をご覧のうえ、申込み書んでください。

360-0815 埼玉県熊谷市本石 1-102  
臨濟宗妙心寺派 松岩寺 住職 花岡博芳

tel 048-522-1812 fax 522-9189 www.shoganji.or.jp / chief@shoganji.or.jp